

2026年6月29日

多摩都市モノレール株式会社

第40期（2025年度）決算概要について

多摩都市モノレール株式会社（本社：東京都立川市、社長：奥山 宏二）では、本日開催された第40回定時株主総会において、第40期（2025年度）決算概要を報告いたしましたので、お知らせいたします。

○ 決算のポイント

- ・コロナ禍からの回復と新たな需要増加により、輸送人員、運輸収入ともに過去最高。

	輸送人員	運輸収入	営業収益
2025年度	5,303万3千人 (4.8%)	87億84百万円 (4.7%)	90億33百万円 (4.7%)
2024年度	5,061万8千人	83億86百万円	86億27百万円
2019年度	5,249万8千人	85億30百万円	87億89百万円

※（ ）は前期比

- ・主に営業収益の増加により、営業利益・経常利益・当期純利益は大幅に増加。

	営業利益	経常利益	当期純利益
2025年度	18億47百万円	20億17百万円	12億47百万円
2024年度	14億94百万円	15億92百万円	6億50百万円
2019年度	7億15百万円	6億45百万円	1億71百万円

【お問合せ】

多摩都市モノレール株式会社 総務部経理・経営戦略グループ

TEL042-526-7800（受付時間 平日 9:00~17:45）

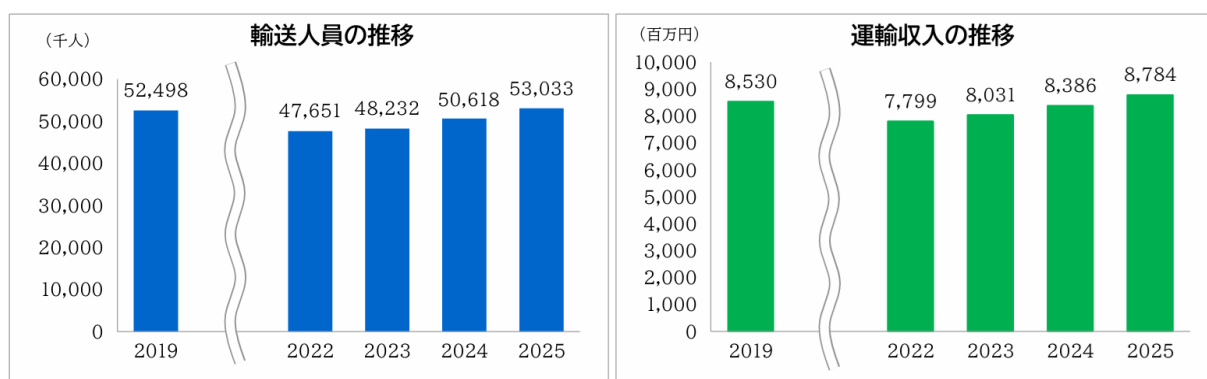
多摩都市モノレール(株)第40期(2025年度)決算概要

1 輸送人員・運輸収入・営業収益は、過去最高

第40期については、輸送人員が延べ約5,303万3千人(前期比4.8%増)、一日平均輸送人員は約14万5千人となり、その内訳は、通勤定期が前期比で4.6%増、通学定期が前期比4.2%増、定期外は前期比5.2%増となりました。このように輸送人員は全体で増加しており、過去最高となりました。運輸収入は前期比4.7%増の約87億84百万円となり、こちらも過去最高となりました。輸送人員、運輸収入ともに沿線商業施設などの集客力や沿線での住宅開発などに支えられ、当期は堅調な業績となりました。

運輸雑収については、駅構内の利活用やイベントの積極的な実施に努め、前期比3.2%増の約2億49百万円となりました。

この結果、運輸収入に運輸雑収を加えた営業収益は、前期比4.7%増の約90億33百万円となりました。

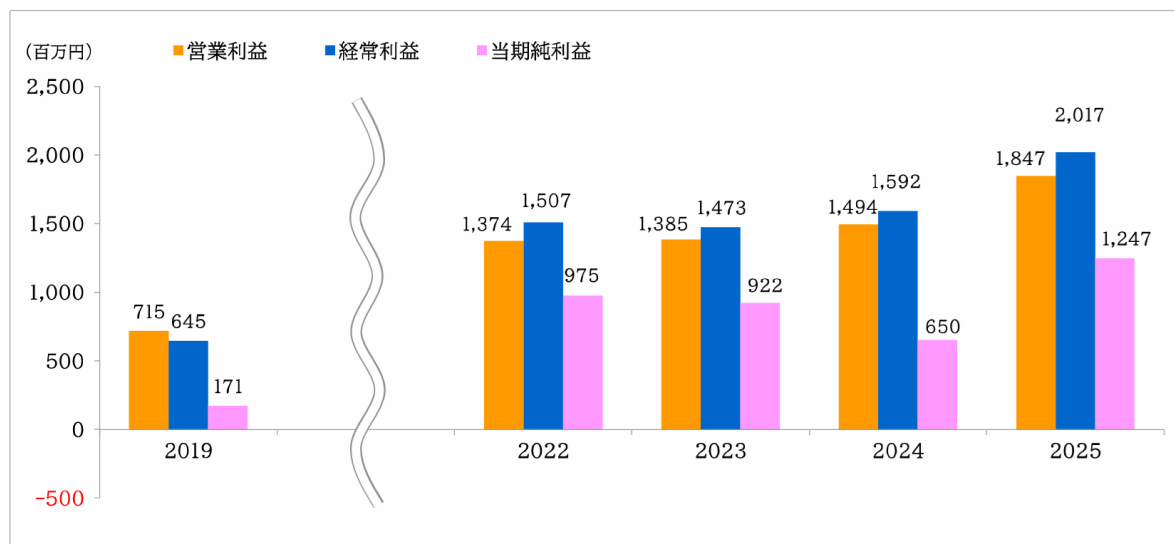


年 度	輸 送 人 員	運 輸 収 入	営 業 収 益
2019年度	5,249万8千人 (▲0.2%)	85億30百万円 (▲0.3%)	87億89百万円 (▲0.3%)
2022年度	4,765万1千人 (23.9%)	77億99百万円 (17.8%)	80億12百万円 (17.7%)
2023年度	4,823万2千人 (1.2%)	80億31百万円 (3.0%)	82億64百万円 (3.1%)
2024年度	5,061万8千人 (4.9%)	83億86百万円 (4.4%)	86億27百万円 (4.4%)
2025年度	5,303万3千人 (4.8%)	87億84百万円 (4.7%)	90億33百万円 (4.7%)

注：()内の数字は、対前年度比となります。輸送人員は原則として単位未満で四捨五入しています。運輸収入・営業収益は原則として単位未満で切り捨てています。このため、合計と内訳の計、増減は必ずしも一致しません。

2 営業利益、経常利益は前期を上回り、当期純利益は大幅に増加

人件費及び修繕費などの一般経費は増加しましたが、営業収益の増加により、営業利益は約18億47百万円、経常利益は約20億17百万円となり、いずれも前期を上回る結果となりました。また、当期純利益は、約12億47百万円に増加となりました。



年 度	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
2019年度	7億15百万円	6億45百万円	1億71百万円
2022年度	13億74百万円	15億07百万円	9億75百万円
2023年度	13億85百万円	14億73百万円	9億22百万円
2024年度	14億94百万円	15億92百万円	6億50百万円
2025年度	18億47百万円	20億17百万円	12億47百万円

注：原則として単位未満で切り捨てています。このため、合計と内訳の計、増減は必ずしも一致しません。

3 今後の経営の見通し

今後、施設の老朽化に伴う設備更新や大規模修繕を着実に実施していく必要があることに加え、昨今の物価高騰の影響などを受け、経営環境は一層厳しさを増していくと見込んでいます。また、延伸事業に係る設備投資も本格化していくことから、安全を最優先にしつつ、収支改善に努め、引き続き経営基盤の強化に努めてまいります。

【参考資料】

第 40 期 (2025 年 4 月 ~ 2026 年 3 月) 決算概況

(1) 収支の状況

	2026年3月期	2025年3月期	増減(▲)
営業収益	9,033	8,627	405
運輸収入	8,784	8,386	397
運輸雑収	249	241	7
営業費	7,185	7,133	52
運送費	4,926	4,702	223
一般管理費	428	377	51
諸税	145	289	▲ 143
減価償却費	1,684	1,763	▲ 79
営業利益	1,847	1,494	353
営業外収益	281	219	61
営業外費用	111	121	▲ 10
経常利益	2,017	1,592	425
特別損失	0	582	▲ 582
税引前当期純利益	2,017	1,009	1,008
法人税、住民税及び事業税	793	359	434
法人税等調整額	▲ 23	0	▲ 23
当期純利益	1,247	650	597
減価償却前経常利益	3,702	3,356	346

(主要増減内訳)

- 営業収益
 - 運輸収入 405 (沿線での住宅開発、沿線商業施設の集客増等)
- 営業費
 - 運送費 223 (人件費や修繕費の増等)
 - 諸税 ▲ 143 (固定資産税1/2減免による減)
 - 減価償却費 ▲ 79 (償却終了による減)

(2) 資産・負債の状況

多摩都市モノレール(株)
(単位:百万円)

	2026年3月期	2025年3月期	増減(▲)
流動資産	7,074	5,409	1,664
現金・預金	5,671	4,384	1,287
その他	1,402	1,025	376
固定資産	57,587	56,599	988
有形固定資産	57,412	56,380	1,031
その他	175	218	▲ 42
資産合計	64,662	62,009	2,652
流動負債	8,922	6,724	2,197
短期借入金	900	1,686	▲ 786
未払金他	8,022	5,038	2,983
固定負債(長期借入金他)	18,744	19,531	▲ 786
負債合計	27,666	26,255	1,410
資本金	100	100	0
資本剰余金	25,923	25,923	0
利益剰余金	10,977	9,730	1,247
自己株式	▲ 6	0	▲ 6
純資産合計	36,995	35,753	1,241
負債・純資産合計	64,662	62,009	2,652

(主要増減内訳)

- 流動・固定資産
 - 固定資産の増 988
- 流動・固定負債
 - 流動負債の増 2,197

(注)単位未満を切り捨てにしているため、合計及び増減は一致しないことがある。